

旅行報告書

会派名 公明党

会派代表者 牧下 恭之

平成29年8月7日

旅行者氏名	旅行者氏名
牧下 恭之	

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

- 1 期間 平成29年8月1日(火曜日)から
平成29年8月4日(金曜日)まで

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
沖縄県石垣市	新庁舎建設について
沖縄県名護市	なごアグリパークについて
沖縄県南城市	新庁舎建設について

沖繩合同行政視察

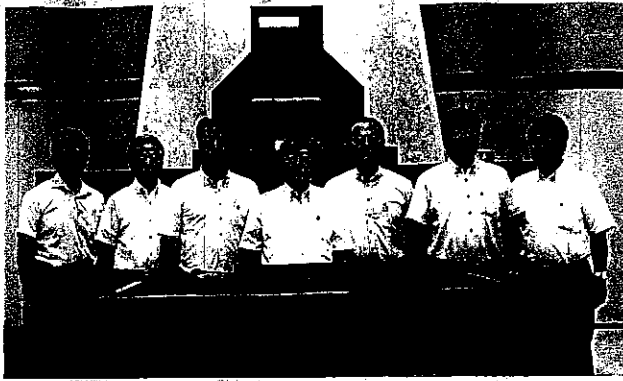
2017年「平成29年」8月1日～4日

公明党 牧下 恭之

- ①石垣市役所 新庁舎について
- ②名護市 なごアグリパークについて
- ③南城市 新庁舎建設について



石垣島



石垣市

【新庁舎について】



石垣市は、日本の最南西端に位置する八重山諸島の主島・石垣島と尖閣諸島などの13の無人島からなり、面積は229.34Km²、人口49,265人、23,585世帯

【基本計画策定の経緯】

建設から46年、建物の老朽化、バリアフリー対応の限界、耐力度調査での不足、構造上危険と診断される。

- ①平成23年度ワーキングチーム発足。
- ②公募市民とワークショップ開催。
- ③平成25年度には学識経験者、地元関係団体、公募市民等にて、石垣市新庁舎建設基本構想策定委員会を設置し、「基本構想」を策定。
- ④市民アンケートや関係団体ヒアリング、パブリックコメントでの市民意見をもとに、現庁舎の課題や新庁舎のあり方整理を行った。

【石垣市新庁舎建設基本計画】

- ①新庁舎建設位置決定
- ②建設事業費の算出・事業手法
- ③整備方針
- ④具体的な機能

【新庁舎の規模】

地方債事業費算定基準面積 約11,580m²
 その他必要な面積 約 890m²
 合計 約12,470m²

【基本構想に基づく整備方針】

- ①開かれた市役所
- ②市民にやさしく、充実したサービス
- ③効率的な執務環境
- ④石垣市のシンボルとなる市役所(市民の誇り)
- ⑤市民と観光客との交流の場
- ⑥歴史や文化の継承
- ⑦観光名所としての市役所
- ⑧クリーンエネルギーの導入
- ⑨災害時の防災拠点
- ⑩まちづくりの中心的役割
- ⑪憩い・利便性・観光振興を備えた施設

【新庁舎の決定】

平成28年2月7日住民投票にて、旧空港跡地に決定

【新庁舎建設の事業計画】

従来方式
 PFI方式
 リース方式
 の3方式についてコスト試算で検討、一番安い約54億の従来方式に決定。



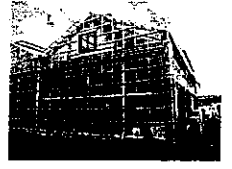
農産物6次産業化支援拠点施設整備事業



農業を支える
街づくりを目指して

なごアグリパーク事業とは、名護市の農業の持つ課題解決のため、6次産業化と観光を融合した複合施設として計画。現在も整備中！一括交付金17億円の活用

- ①加工支援施設
農産物の加工を支援
- ②ショップ
加工品等の販売を支援
- ③レストラン
農家と連携し名産農産物を提供
- ④観光農園
集客施設として各施設との相乗効果を担う



観光農園

一括交付金によって計画されたものである。水俣市においては、参考にできる分を精査して、農業改革に挑戦していきたい。



新庁舎建設について

【南城市】
平成18年1町3村合併。
中心に拠点を置くこと決定する。
人口:43,230人
世帯:16,982世帯
一般会計:253億円



現庁舎

- (1)市民にやさしい便利な庁舎
- (2)三世代が集まる、地域に根差した庁舎
- (3)防災の拠点となる安全・安心な庁舎
- (4)環境に配慮した庁舎
- (5)合併特例債活用した庁舎



新庁舎イメージ

【建設計画概要】
予定工期:平成28年12月1日～平成30年1月31日予定
敷地面積:22,796㎡
建築面積:6,567㎡
延床面積:15,945㎡
構造規模:地上4階、鉄筋コンクリート・免震構造
駐車台数:市民用132台、公用車59台
建築工事費:約50億円



問、議場や委員会室の多目的利用の対応は
答、議場は移動式の議席等の検討もしたが、庁舎内に多目的利用可能な大会議室や保健センターが併設され、最終的に固定式の議席で対応。
委員会室は、執行部の会議室として利用へ調整

問、議員控室など、1人会派の個室は

答、議員控室については、現行の3会派に併せ、新庁舎においても3つの会派室を準備、会派が増え、後付けの間仕切りの設置等で部屋数を増やせるようにしている。また、予備の部屋もひとつもうけてあり、弾力的に対応できる準備をしている。

